

児童期における関係機関のネットワークに 関するアンケート調査 報告書

2022年（令和4）年2月

寒川町地域自立支援協議会

目 次

1, 児童期における関係機関のネットワークに関するアンケート調査概要	…	1
2, 児童期における関係機関のネットワークに関するアンケート調査結果	…	3
問1 対象児の支援において、連携している機関を教えてください。		
問2 対象児の支援において、今はできていないが、今後連携していきたい 機関を教えてください。	…	4
問3 対象児の支援において、どのような困りごとがあるか（あったか） 教えてください。	…	5
問4 困りごとがあった時、どのように対応しているか（解決したか） 教えてください。	…	7
問5 対象児・ご家族を中心とした関係機関の支援ネットワーク構築に 関する課題を教えてください。	…	8
3, 児童期における関係機関のネットワークに関するアンケート調査表	…	11

1， 児童期における関係機関のネットワークに 関するアンケート調査概要

【調査概要】

【実施目的】

支援者がどのようなことで困っているのか、どのような状況で連携・協働ができていないのか、支援ネットワーク構築のための実態調査を行い、課題の洗い出しや現状を把握し、今後のネットワーク構築時の参考とする。

【実施期間】

2021年（令和3年）9月17日（金）～10月8日（金）

【アンケート回収数】

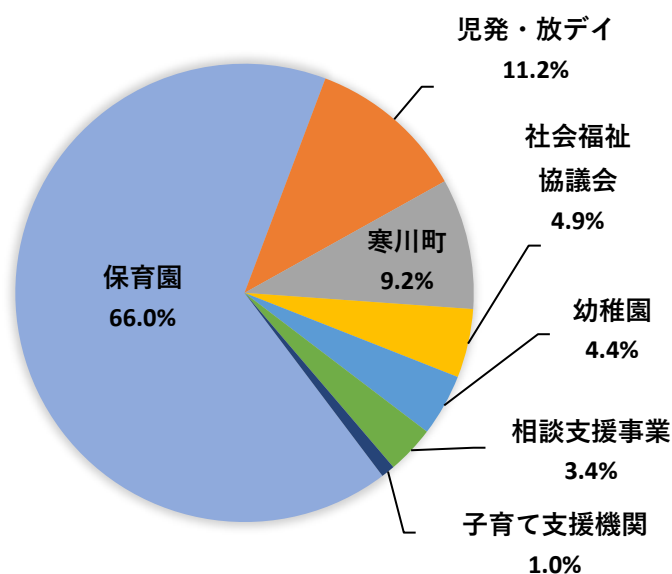
206件

【調査対象者】

寒川町内の児童支援機関で、日頃より0歳から小学生までの障がい児を含む支援が必要な児童の支援に携わっている方。

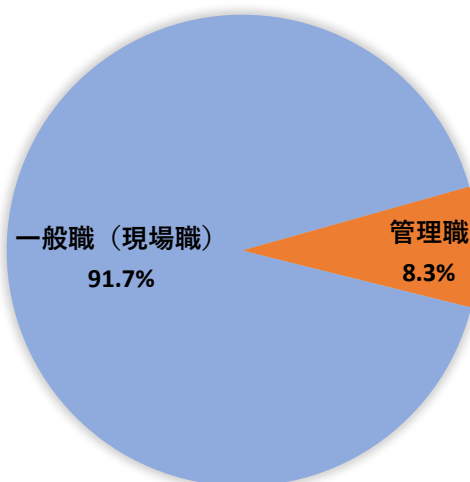
○所属内訳

寒川町	:	19件
幼稚園	:	9件
保育園	:	136件
相談支援事業	:	7件
子育て支援機関	:	2件
児童発達・放課後等デイ	:	23件
社会福祉協議会	:	10件



○役職内訳

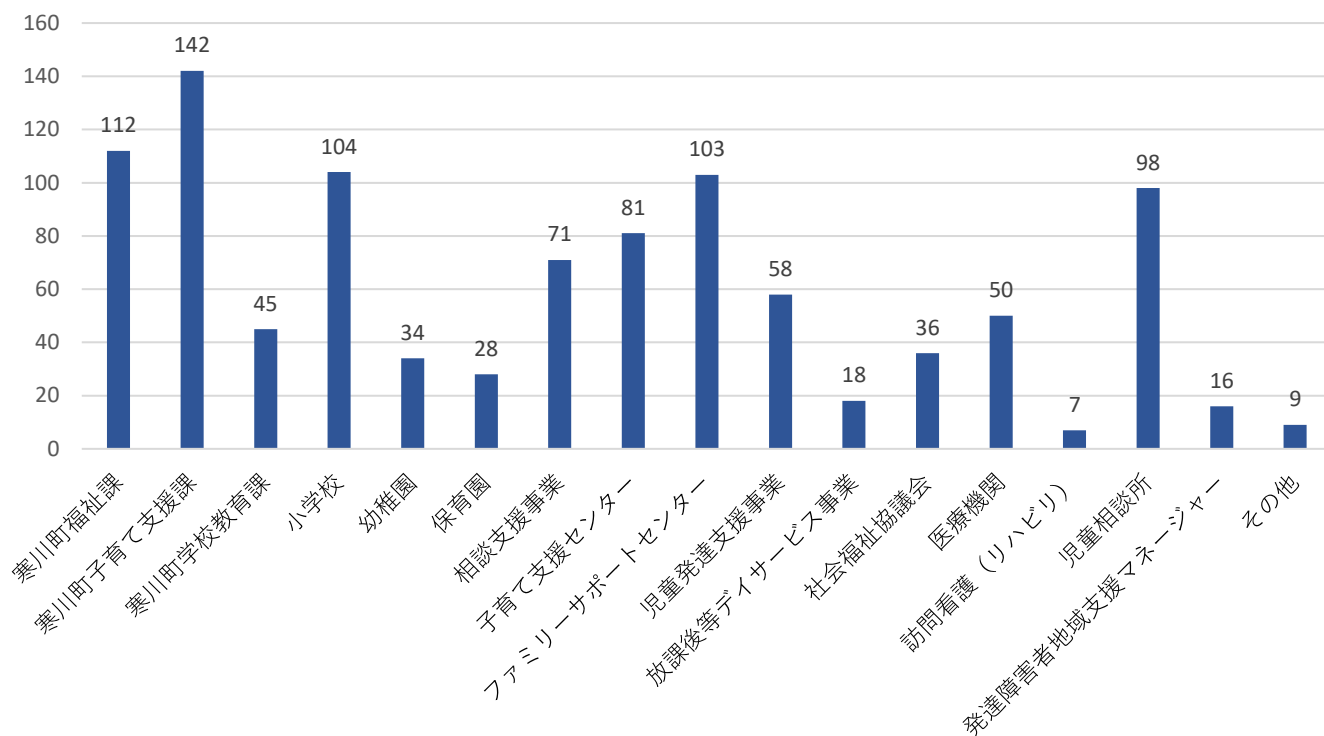
一般職（現場職）	:	189件
管理職	:	17件



2, 児童期における関係機関のネットワークに 関するアンケート調査結果

問1 対象児の支援において、連携している機関を教えてください。（選択式）

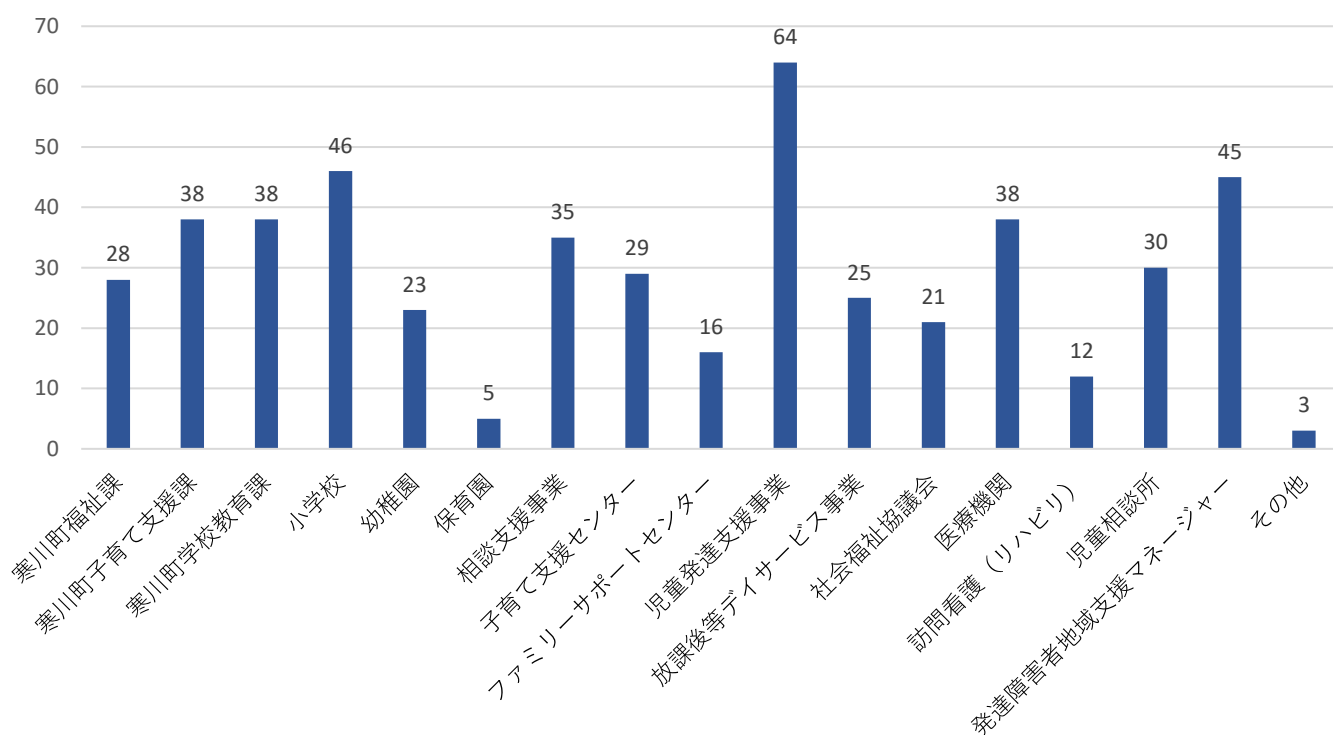
[回答数：1104件]



【その他】 平塚保健福祉事務所（4）、保育課（2）、スクールソーシャルワーカー（1）、総合療育センター（1）
ほっとステーション（1）

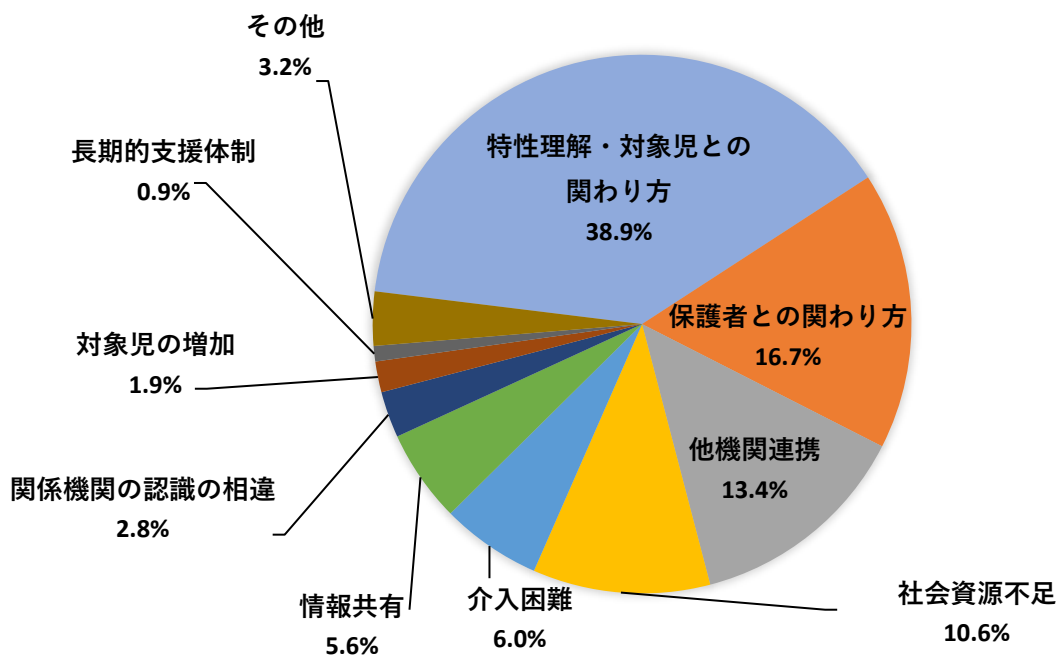
問2 対象児の支援において、今はできていないが、今後連携していきたい機関を教えてください。（選択式）

[回答数：521件]



【その他】 かながわA（エース）（1）、ボランティアセンター（1）、相談できる場所（1）

問3 対象児の支援において、どのような困りごとがあるか（あったか）教えてください。
（記述式） **[回答数：216件]**



回答詳細

特性理解・対象児との関わり方（回答数：84件）

- ・対象児にとって必要な支援が何か、分からない。（70件）
- ・対象児の支援を行っていきたいが、園や事業所運営とのバランスが難しい。（14件）

保護者との関わり方（回答数：36件）

- ・保護者と支援者の認識の相違。（15件）
- ・保護者自身に支援が必要。（7件）
- ・保護者に園や事業所での様子をどのように伝えたら良いか、分からない。（6件）
- ・保護者との連携が難しい。（4件）
- ・保護者が求めていることが分からない。（4件）

他機関連携（回答数：29件）

- ・関係機関が主体的に連携できていない。（12件）
- ・連携先が分からない。（6件）
- ・連携するためのコーディネーターがいない。（6件）
- ・自事業所だけでは支援に限界がある。（4件）
- ・コロナウィルス感染拡大により連携が取りにくくなった。（1件）

社会資源不足（回答数：23件）

- ・対象児に支援を行うための現場職員が不足している。（10件）
- ・現場職員に対するコンサルテーション・スーパーバイズ機能が足りない。（8件）
- ・対象児が利用できる短期入所やヘルパー支援が不足している。（3件）
- ・対象児が受診できる医療機関が不足している。（1件）
- ・対象児が通園できる幼稚園が不足している。（1件）

介入困難（回答数：13件）

- ・連絡が取れない。（8件）
- ・支援が必要だと思われるが、保護者や対象児が困っていない。（3件）
- ・キーパーソンがいない。（1件）
- ・外国籍でコミュニケーションがとりにくい。（1件）

情報共有（回答数：12件）

- ・支援機関の間で、対象児についての情報共有が不十分。（6件）
- ・各支援機関の情報（役割や特徴）が保護者に分かりにくい。（4件）
- ・保護者との情報共有が不十分。（2件）

関係機関の認識の相違（回答数：6件）

- ・支援機関の間で、アセスメント・見立て・危機感に対する認識に相違がある。（4件）
- ・支援機関の役割の認識が間違っている支援者がいる。（1件）
- ・担当ではない、と相談を受けられない支援者がいる。（1件）

対象児の増加（回答数：4件）

- ・対象児が増加している。（4件）

長期的支援体制（回答数：2件）

- ・ライフステージが変化しても、継続して支援を受けられる体制が整っていない。（2件）

その他（回答数：7件）

- ・保護者が園・事業所のルールを守れない。（2件）
- ・家族会・当事者会の横のつながりが希薄。（1件）
- ・不登校の対象児。（1件）
- ・単独通学が出来ない。（1件）
- ・事業所の設備。（1件）
- ・保護者から相談された時。（1件）

【考察】

保育園からの回答が多かったこともあり、対象児への直接支援（関わり）に困っているという意見（70件）が多かったことから、対象児自身の困り感が分からないことも汲み取る事が出来る。その上で、保護者の求めている事と、支援者が必要だと思う支援に相違が生じること（15件）や、対象児だけではなく家族全体としての支援が必要なこと（7件）も課題としてあげられている。

他機関連携に関しては、どの機関と連携先をすればいいのか分からない（6件）、或いは連携するためのコーディネーター（繋ぎ役）が不在（6件）のために、関係機関とうまく繋がることのできないという意見もあげられている。

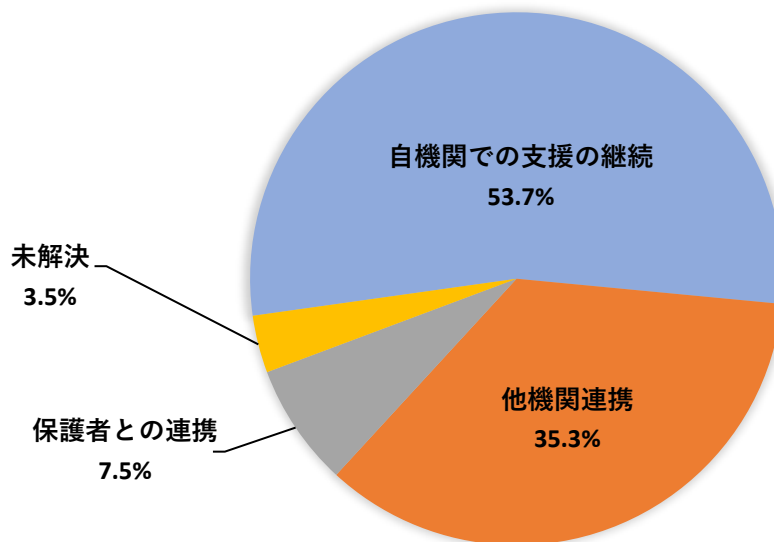
直接支援の職員からは、専門知識を有する者からのコンサルテーションやスーパーバイズを求める声があり（8件）、支援の組み立てにおいて第三者の関りを求めていることが分かる。

連絡が取れない等の介入困難（計13件）や、個人情報保護の観点から情報共有についての課題（計12件）などもあげられている。

問4 困りごとがあった時、どのように対応しているか（解決したか）教えてください。

（記述式）

[回答数：201件]



回答詳細

自機関での支援の継続（回答数：108件）

- ・ 同僚・上席者等に相談、ケース検討を行う。（52件）
- ・ 対象児との関わり方を工夫する。（33件）
- ・ 現行の支援を継続する。（12件）
- ・ 加配等、支援体制を工夫する。（11件）

他機関連携（回答数：71件）

- ・ 関係機関と連携する。（49件）
- ・ コンサルテーション・スーパーバイズを受ける。（22件）

保護者との連携（回答数：15件）

- ・ 保護者から家庭での状況等の情報共有を図る。（15件）

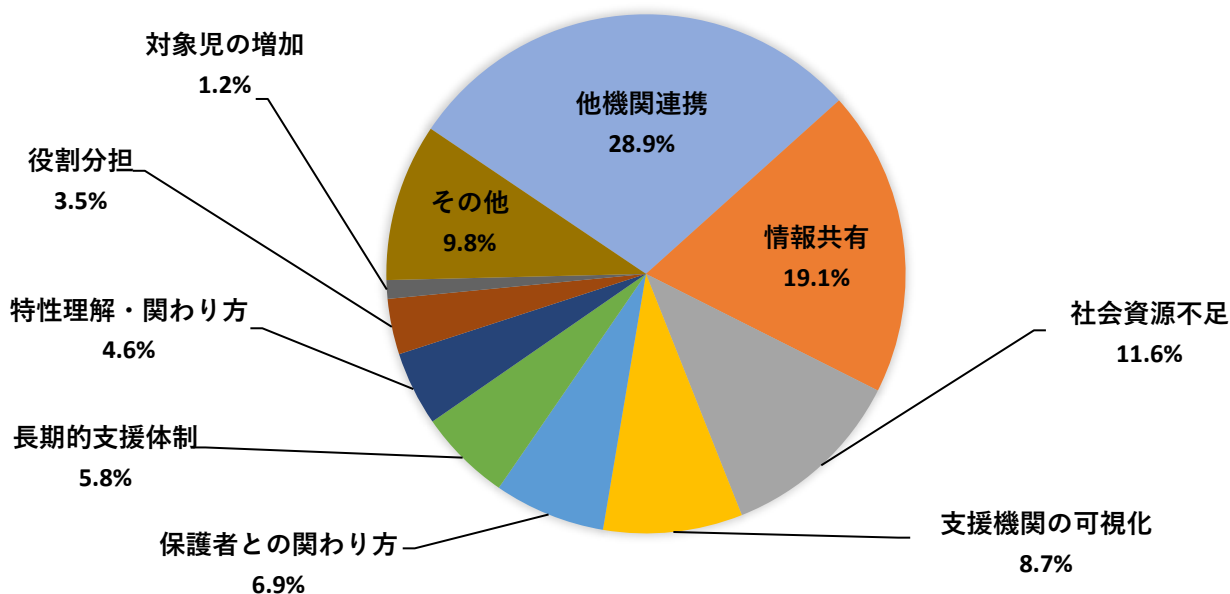
未解決（回答数：7件）

- ・ 対応は試みているが、解決に至っていない。（7件）

【考察】

自機関での支援の継続による対応が約半数（計108件）を占め、他機関連携による課題解決（計71件）より多数であった。他機関連携による課題解決の内、コンサルテーション・スーパーバイズを受けることにより課題解決を試みている（22件）意見も多数あったが、中には未解決なもの（計7件）もあるのが実状である。

問5 対象児・ご家族を中心とした関係機関の支援ネットワーク構築に関する課題を教えてください。（記述式） **[回答数：173件]**



回答詳細

他機関連携（回答数：50件）

- ・対象児を中心とした関係機関の連携が課題。（34件）
- ・家庭全体を支援対象とした支援者の連携が課題。（10件）
- ・連携の際のコーディネーター不在が課題。（4件）
- ・行政各課の連携が課題。（2件）

情報共有（回答数：33件）

- ・支援機関での情報共有が課題。（25件）
- ・対象児支援に必要な情報が入ってこない。（4件）
- ・保護者との情報共有が課題。（4件）

社会資源不足（回答数：20件）

- ・コンサルテーション・スーパーバイズ機能不足。（12件）
- ・療育施設不足。（4件）
- ・緊急時の支援機関不足。（1件）
- ・不登校支援・フリースクール等の不足。（1件）
- ・父親の支援機関不足。（1件）
- ・一人親の支援機関不足。（1件）

支援機関の可視化（回答数：15件）

- ・保護者にとって、どのような支援機関があるのかわかりにくい。（12件）
- ・支援者にとって、どのような支援機関があるのかわかりにくい。（3件）

保護者との関わり方（回答数：12件）

- ・保護者と支援者の認識の相違。（9件）
- ・保護者自身に支援が必要。（2件）
- ・保護者が支援ネットワークの必要性の理解がない。（1件）

長期的支援体制（回答数：10件）

- ・入園・入学等の変換期に、支援が途切れない様に各機関が協力し合う必要がある。（8件）
- ・対象児が成人するまで、一貫した支援を行う必要がある。（2件）

特性理解・関わり方（回答数：8件）

- ・関係機関が対象児の特性理解を進め、より良い支援を行っていく必要がある。（8件）

役割分担（回答数：6件）

- ・関係機関がそれぞれの役割を理解し、支援を明確にする必要がある。（6件）

対象児の増加（回答数：2件）

- ・対象児の増加（それに伴う医療機関初診までの待機期間の長期化）（2件）

その他（回答数17件）**【考察】**

それぞれの機関が主体性をもって他機関連携を行っていく事（計50件）が求められており、情報共有に関しては、当事者が課題を感じていない状況（当事者に情報共有の承諾を得られない状況）であると、個人情報保護の観点から、連携が取りにくい状況（計33件）が生じている。

社会資源に関しては、コンサルテーション・スーパーバイズを求める意見が多数（12件）あり、第3者からの助言を含めた重層的な支援の展開が求められている。

保護者と支援者の双方にとって、各機関の役割がわかりにくく（計15件）、その機能を理解する機会がない事が、連携を取る上で課題となっている。

対象児支援において、保護者との連携・保護者への支援等（計12件）が必要である。

また、ライフステージの変換期に、今までの支援を有効的に引き継ぐこと（計10件）も求められおり、対象児が成人後も切れ目のない支援を受けることができる環境作りが求められている。

3, 児童期における関係機関のネットワークに関するアンケート調査表

児童期における関係機関のネットワークに関するアンケート

令和3年度の寒川町地域自立支援協議会では、児童期における支援ネットワークの構築について、検討することとなりました。

つきましては、関係者の皆さまのご意見を伺い、今後のネットワーク構築時の参考とさせていただくことを目的にアンケートを実施しますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、アンケート調査の対象者は、寒川町内の児童支援機関で、日頃より0歳から小学生までの障がい児を含む支援が必要な児童（以下「対象児」という）の支援に携わっている方とします。

所 属	☐ 寒川町福祉課	☐ 寒川町子育て支援課	☐ 寒川町学校教育課
	☐ 小学校	☐ 幼稚園	☐ 保育園
	☐ 相談支援事業	☐ 子育て支援センター	☐ ファミリーサポートセンター
	☐ 児童発達支援事業	☐ 放課後等デイサービス事業	☐ 社会福祉協議会
役 職	☐ 一般職（現場職） ☐ 管理職		

問1 対象児の支援において、連携している機関を教えてください。

- | | | |
|--|---------------------------------------|--|
| ☐ 寒川町福祉課 | ☐ 寒川町子育て支援課 | ☐ 寒川町学校教育課 |
| ☐ 小学校 | ☐ 幼稚園 | ☐ 保育園 |
| ☐ 相談支援事業 | ☐ 子育て支援センター | ☐ ファミリーサポートセンター |
| ☐ 児童発達支援事業 | ☐ 放課後等デイサービス事業 | ☐ 社会福祉協議会 |
| ☐ 医療機関 | ☐ 訪問看護（リハビリ） | ☐ 児童相談所 |
| ☐ 発達障害者地域支援マネージャー | | |
| ☐ その他 | | |

問2 対象児の支援において、今はできていないが、今後連携していきたい機関を教えてください。

- | | | |
|--|---------------------------------------|--|
| ☐ 寒川町福祉課 | ☐ 寒川町子育て支援課 | ☐ 寒川町学校教育課 |
| ☐ 小学校 | ☐ 幼稚園 | ☐ 保育園 |
| ☐ 相談支援事業 | ☐ 子育て支援センター | ☐ ファミリーサポートセンター |
| ☐ 児童発達支援事業 | ☐ 放課後等デイサービス事業 | ☐ 社会福祉協議会 |
| ☐ 医療機関 | ☐ 訪問看護（リハビリ） | ☐ 児童相談所 |
| ☐ 発達障害者地域支援マネージャー | | |
| ☐ その他 | | |

～ 以下の項目につきましては、些細なことでもご記入ください ～

問3 対象児の支援において、どのような困りごとがあるか（あったか）教えてください。

問4 困りごとがあった時、どのように対応しているか（解決したか）教えてください。

問5 対象児・ご家族を中心とした関係機関の支援ネットワーク構築に関する課題を教えてください。

ご協力ありがとうございました。

※提出期限：2021年（令和3年）10月8日(金)

【ご提出・お問合せ先】さむかわ基幹相談支援センター：山田・田中

〒253-0101 寒川町倉見623-2 TEL：0467-39-5591 FAX：0467-39-5948

Email：samukawa-kan@vesta.ocn.ne.jp